No.２１８　令和６年８月１日

来て！見て！住んで！ Yamakita

やまきたまち　議会　だより

議会のおと

家族も牛モォ～感謝でいっぱい　花坂さんご一家
（関連記事は裏表紙に）

P8～9… 特集 家族で読んでね
「議会ってなんだろう？」

P10…新広報モニターからの「声」

議会ホームページは
こちらから

ここが聞きたい

令和６年第２回定例会

次世代を応援！DX推進で明るいまちづくり

○令和６年第２回定例会を（６月10日～11日）開催しました。
・主な議題として条例改正、補正予算、契約案件、動産の処分等を審議しました。
・一般質問は８名の議員が登壇しました。（4～7ページ）

５月臨時会（５月13日）	内　容
児童・生徒への支援	小中学校給食費補助等（2,168万円）
国保会計への繰出し	一般会計から国保特別会計へ繰出し（4,000万円）
６月定例会（６月10日～11日）	内　容
臨時特別給付事業	低所得子育て世帯、新たに住民税均等割のみ課税となる世帯・住民税均等割非課税となる世帯へ臨時給付金支給（1億590万円）
体育施設建築工事請負契約	旧山北体育館代替体育施設建築工事請負契約　（2億9,524万円）

DX推進（※）で快適な生活へ

生涯学習センター予約システムを入れることで町にどのような効果があるのか。

生涯学習課長　町施設予約管理システムを、町内７施設とこれから建築する代替体育施設に導入していく。

専用サイトでスマートフォン等から24時間予約ができるような状況にしていきたい。

併せて、キャッシュレス決済も導入していく。

町内登録団体については、優先的に予約ができるようにしていきたい。

（※）DXとは「デジタルトランスフォーメーション」の略で、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す。

今後、町としてDXにどのように取り組んでいくのか。

企画総務課長　国・県も推奨している中、町としてどのように導入していくことが、町民にとって優先的に利益があるのかを課内で検討し、取り組んでいく。

代替体育施設建築本格始動へ

施設建築工事を一般競争入札にした理由は。また、契約業者は環境への配慮は大丈夫か。

生涯学習課長　過去に庁舎、健康福祉センター建設時に行っており、今回で３例目になる。

また、透明性・公平性及び落札価格を抑えることを考慮して一般競争入札にした。

町と請負業者との契約において、環境に配慮した公共工事の推進を行うこととしている。また、実施設計で環境に配慮した素材を使用する設計となっている。

5月臨時会（5月13日）

一般会計補正予算　特別会計

今年度も、小中学校給食費全額助成補助となったが、令和７年度から、給食費無償化への考えは。

こども教育課長　来年度以降については、未定であるが、町の財政状況、交付金、近隣の対応等踏まえて、今後検討していきたい。

町長　周りの状況や財政状況を見ながら考えていきたい。

令和５年度国民健康保険事業特別会計補正予算（専決処分）

令和6年度から令和8年度の国保税改定を実施したが、今後の見通しは。また、医療費抑制への取組みは。

保険健康課長　令和７年度からの国保税改定について再度検討しなくてはいけないと考えている。

フレイル（※）予防事業、検診事業、健康づくり事業などを充実させていくことにより、医療費抑制も同時に進めていきたい。

（※）フレイルとは
加齢とともに心身の活力が低下し生活機能に衰えが出始める状態。

議案等審議の結果

第３回　臨時会（５月 13 日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和６年度一般会計補正予算（第１号） ・主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る増で、歳入歳出総額 55 億 48 万円とするもの	可決	**専決処分の承認（令和５年度一般会計補正予算（第 11 号））** ・地方譲与税、地方交付税などの額の確定に伴い、地方自治法第 179 条第１項の規定により専決処分したもの	承認
専決処分の承認（町税条例の一部を改正する条例の制定） ・地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い急施を要するためのもの	承認	**専決処分の承認（令和５年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第４号））** ・国民健康保険税等の減少に伴い、神奈川県国民健康保険財政安定化資金の借入れ、及び一般会計から繰入れを行ったもの	承認
専決処分の承認（町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定） ・非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴い急施を要するためのもの	承認		

第２回　定例会（６月 10 日～ 11 日）

件名	審議結果	件名	審議結果
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 ・地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、改正するもの	可決	**令和６年度旧山北体育館代替体育施設建築工事請負契約の締結** ・旧山北体育館代替体育施設建築工事請負契約を締結するため、議会の議決に付すもの	可決 （賛成多数）
指定介護予防支援及び基準該当介護予防支援に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、改正するもの	可決	**動産の処分** ・町が所有する旧山北体育館代替体育施設建築工事に使用する木材を売り払うための契約を締結するため、議会の議決に付すもの	可決 （賛成多数）
地域包括支援センターの職員等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の基準の一部を改正する省令の施行に伴い、改正するもの	可決	**令和５年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告** ・令和５年度に実施する予定だった総務費、民生費、衛生費を繰り越し、令和６年度に実施するもの	報告のみ
道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定 ・神奈川県道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の施行に伴い、改正するもの	可決	**令和５年度町土地開発公社事業報告及び決算報告** ・町土地開発公社理事会において承認された事業報告及び決算報告するもの	報告のみ
令和６年度一般会計補正予算（第２号） ・予算の総額を 56 億 1,263 万円とするもの	可決		

☆賛成・反対があった議案（第２回定例会）※○は賛成、●は反対を表しています。石田照子議長は、採決に加わりません。

議案件名＼議員名（議席順）	和田成功	池谷仁宏	瀬戸伸二	高橋純子	瀬戸恵津子	大野徹也	冨田陽子	府川輝夫	熊澤友子	遠藤和秀	児玉洋一
令和６年度旧山北体育館代替体育施設建築工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
動産の処分	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

問 心に寄り添う子育て支援を

答 しっかりと進めていく

１番 和田 成功 議員

Q 0歳から15歳までの一貫教育・保育の取組状況は。

答 「0歳から15歳までの一貫教育・保育」をさらに深化させ、切れ目のない、より質の高い教育・保育と子どもたちへの支援の充実を図っていく。

Q 切れ目のない子育て支援の現状をどのように捉えているのか。

答 保護者の子育てに対する経済的負担の軽減を図る制度だが、昨今の物価高騰により、ますます家庭の経済的負担が増えている。

安心して子どもを産み育てることができるよう、子育てに優しい環境を整えることが、これまで以上に重要になると考えている。

Q やまきた児童クラブの運営状況は。

答 学年の枠を超えた、遊びや体験の機会を充実させて、子どもの遊びの場を豊かにしていきたい。

アンケート結果を参考に、今後の活動に活かしていけるよう事業者との連携を図り検討していく。

楽しいおやつタイム
（やまきた児童クラブ）

動画はこちら

問 フィルムコミッションでまちに活気と勢いを

答 撮影可能な場所やエキストラ登録制度の創設を検討したい

４番 高橋 純子 議員

Q フィルムコミッション（※）の現状はどのようになっているのか。

答 町内におけるロケーション撮影の相談は商工観光課が担っている。相談を受ける場合は、企画内容や希望する撮影が可能であるか、町のイメージを損なうものでないか、確認をしている。

町を介さず撮影が行われている場合もある。

Q フィルムコミッションのさらなる推進と今後の取組みは。

答 人材の確保と育成が重要だが、職員の人数にも限りがあり、手厚い支援には至っていない。

現状は、撮影者が求める内容の一部しかサポートできておらず、今後は個人や法人を対象とした撮影場所やエキストラの登録制度の創設を検討したい。

Q ロケ地検索サイトなどの活用をすすめてはどうか。

答 検索サイトの内容を確認し、今後検討していきたい。

動画はこちら

※フィルムコミッションとは
映画やテレビドラマ、CMなどあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際の撮影がスムーズに行われるようロケ地と撮影者との調整役となる団体のこと。

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 消滅可能性がある自治体をどのように考えるか

答 ひとつの見方や問題提起ととらえている

３番 瀬戸 伸二 議員

Q 若年層の転出の抑制、転入者の増加についてどのようにすべきと考えているか。

答 人口減少を抑制するために、関係人口を増やし定住人口への流れを創出する取組みや、山北に住みたい、住み続けたいと思われるまちづくりを積極的に進めることが重要と考える。

第６次総合計画と整合性を図り、関係人口と移住者・定住者に重きを置くことを考えていく。

Q 消滅可能性自治体が好転しなければ市町村合併が話題となると思うが、合併について町の考えは。

答 近隣自治体から検討・協議の場が設定されることがあれば、参加していくことを考えていく。

Q 消滅可能性自治体（※）と示されていることについて、当町ではどのようにとらえているのか。

答 事実として冷静に受け止めている。今後移住・定住の促進を図っていく。

※消滅可能性自治体とは
民間有識者で構成される「人口戦略会議」が打ち出した考え方で、20歳から39歳までの女性の数が、2050年までの30年間で5割以下に減少する自治体を指す。

動画はこちら

問 通園通学にかかる交通審議会の設置を

答 教育委員会で課題を整理し公共交通会議で協議する

８番 府川 輝夫 議員

Q 清水地区保護者の園児スクールバスの要望対策は。

答 岸幼稚園への通園は、公平性を考慮した送迎対象地区、こども園の教育認定の園児や運行形態を整理し、保護者の意向を調査したうえで、令和７年度からの運行等を検討する。

Q 令和７年度以降のスクールバスの運営方針は。

答 令和７年度末に国からの補助金は終了するが、現状に即したスクールバス要綱に見直し、引き続き運行を継続する。

Q 保育認定の園児の送迎は。

答 登園や降園の時間がそれぞれ異なる等の課題が多くハードルは高い。

実施するならば全町的に取り組まなくてはいけない。

Q 高校生を含めた通園・通学の交通のあり方は。

答 高校生は通学時間や送迎先が多岐にわたるため、山北町地域公共交通会議で、横断的に今後の町内バス等地域公共交通のあり方を協議していく。

動画はこちら

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 1. 安全・安心に自然と向き合うためには
2. ハイカーにやさしい施設の整備を

答 1. 随時整備・更新を行っていく
2. トイレ使用に困らないよう維持管理に努めていく

２番 池谷 仁宏 議員

Q 畑等で野焼きをする際の注意喚起は。

答 町広報紙やホームページで周知をしておりますが、引き続きより分かりやすい内容となるように努めていく。

Q 中山間地域における初期消火の取組みは。

答 水利が乏しい中で活躍したファイヤーハンター（背負い式消火水嚢）を、まずは1～7分団に追加配備する。

Q 中山間地域における水利の確保状況は。

答 可搬式貯水タンクなどを大野山に配備できないか考えている。

Q ハイキング道に隣接するトイレの維持、管理状況は。また、今後の計画は。

答 交流センター等にトイレの維持管理募金の設置を内部で検討していく。
また、携帯トイレの携行等、トイレのルールについてホームページ等で促すよう検討する。

大野山駐車場のトイレ

動画はこちら

問 森林の多面的機能を持続し町の活性化を

答 造林補助事業や森林環境譲与税で森林の多面的機能を持続する

６番 大野 徹也 議員

Q 木質バイオマスの活用、間伐などの森林クレジットの取組み、先端技術の活用策は。

答 町内の未利用間伐材を活用した木質バイオマスボイラーの設置を検討する。
町有林を活用した森林クレジット（※）の事業化やドローンなどの先端技術に、森林環境譲与税の活用を研究する。

※森林クレジットとは
間伐や造林などの森林管理の取組みを、プロジェクトとして登録し実施することで「クレジット」が創出されCO2吸収量を売買できるため、販売収益を森林整備に充てることが可能となる。

Q 都市住民との交流を図るための森林セラピー事業の推進施策は。

答 SNSの活用で森林セラピー事業を推進し、関係人口や観光客の増加を図る。

動画はこちら

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 子どもの居場所の拡充を

答 建築予定の体育施設での利用を促進したい

7番 冨田 陽子 議員

Q 子どもが自由に出入りし、すごせる場所である児童館の利用方法を見直しては。

答 現在、児童館は完全予約制で利用しているが、安全面や施設管理の点から子どものみの開放利用は難しい。

新たに建築する代替体育施設への利用を促進したい。

南足柄市子育て支援拠点施設「にこっと」

Q 子育て支援センターの休日開館日を増やす考えは。

鉄道公園や、さくらの湯も隣接しているので親子で1日遊べる拠点にもなる。

答 土曜日の開所日数を増やしてほしいという声もある。

令和６年度実施するニーズ調査等で現状を把握し検討したい。

Q 暖かく見守ってくれる大人が多いことが安心して子育てするには必要不可欠である。

町内にこどもの居場所の選択肢が増えるよう支援体制を整えては。

答 子どもや親子の居場所に繋がるような活動を行う団体が増えるよう、支援策を他自治体の例も参考に検討していきたい。

動画はこちら

問 町民にやさしい防災と避難所対策を

答 住宅の耐震改修工事とペット同行避難の推進

9番 熊澤 友子 議員

Q 昭和56年以前に建築された木造住宅で、耐震診断、耐震改修工事を行った実績はあるのか。

答 耐震診断や耐震改修工事には、補助金制度がある。これまで問い合わせはあるが、自己負担が発生するため、補助金交付には至っていない。

Q プライバシーが守られるようなテントを各避難所に増やしていく考えは。

答 テントは総数五百張り備蓄し、更新や新製品の購入などを通し必要数を確保していく。

Q 避難所を開設した場合、職員の配置は決まっているのか。

答 状況に応じ、災害対策本部の指示により配置する。

Q 避難所において、ペットとの同行避難（※）のルールと周知方法は。

答 山北中学校はペット同行避難が可能と判断し、有事の際は受け入れの体制を整えることとした。

ルールについては、令和６年度発行の防災ハンドブックに掲載するとともに周知を図る。

※同行避難とは
災害時にペットと一緒に避難所へ避難できること。

動画はこちら

原稿は、質問者本人が作成しています。

特集

議会ってなんだろう？

広報モニターの方から寄せられたご意見を元に、もっと議会を身近に感じられるような、子どもたちにも分かりやすい“議会とは？”を探っていきます。

議会とは…？

わたしたちの「山北町」を住みよいまちにするためには、みんなでどうしたらよいか考えてその方法を話し合って決める必要があります。

でも、みんなが集まって話し合うのはとても大変です。

そこで、わたしたちはみんなの代表を選んで（選挙）、かわりに話し合いをしてもらいます。その代表が「議会議員」で、議員の集まりが「議会」です。

議会では町長が計画した仕事やお金の使い方（予算）、町の決まり（条例）などについて、それでよいのかどうか、話し合って決めます。

どんな仕事をしているの…？

議会は年に４回（３月、６月、９月、12 月）決まった時期に開く「定例会」と、必要な時に開く「臨時会」で町の仕事を決めます。

それ以外では、専門的な「委員会」を設置し、議論を深めたり、新たな知識を得るために他の市町村へ勉強に行ったりしています。

また、町民の声を聴く「おしゃべり Cafe」や広報紙「議会のおと」の発行、YouTube 動画の編集など広報広聴活動にも力を入れています。

議員ってどんな人？

議会議員は、４年ごとに選挙で選ばれます。議会議員になれる人は 25 歳以上の町民で、議会議員を選ぶことのできる人は 18 歳以上の町民です。

山北町では、全員で 12 人が選ばれます。

おしゃべり Cafe で町民の
生の声を聴く議員

議会広報紙「議会のおと」は
年４回の発行

定例会の一般質問は
YouTube で動画配信

例えば「みんなのスケートパーク」ができるまで…

町民

願いを伝える

町長

どんなスケートパークをつくるのか、いくらお金がかかるのか、議会に計画を提出します

要望（提案）

議案提出

建設工事

賛成（可決）

町議会で決まったことをもとに町は仕事を進めます

議員

町民の願いを良く調べて話し合い、町長へ伝えます

議会

町長から提出された計画（議案）について話し合い、スケートパークを作るかどうか決めます

みんなのスケートパークができました！

No217 議会のおと
新広報モニターからの「声」

令和６年度から新たに 11 名の議会広報モニターになられた皆さまから前号（No.217）に関してのアンケートに回答していただきました。モニターの方の多様な声でつくる議会だよりをめざしています。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

～定例会の審議～

●内容が整理されていて読みやすいです。
●地域住民の声を含んだ未来の山北町総合計画に期待します。

～討論・附帯決議～

●水源環境保全は、大切な案件だと思います。
●体育館の建設は重要課題、適切な対応をしてほしい。
●トピック的に取り上げて深堀りしてもらえると理解が深まって良いと感じました。

～表紙裏表紙～

●笑顔の家族写真がいいですね。
●画素数が荒いのがもったいない。
●「議会のおと」というタイトルの意図が伝わりにくい。

～その他ご意見～

●議会を身近なものにするために「議会ってなぁに？」のようなページを入れ込むのはどうか。
●おしゃべりカフェの開催情報はよく目にするが、参加しにくい。
●広報モニター意見交換会のような機会は必要だと思います。
●モニターアンケートもｗｅｂ回答できたらよいと思います。

⬅これが QR コード
スマホのカメラで読み取ると紙面等を見ることができます。
※全集計結果はホームページに掲載しています。

4/20 清水地区 道の駅山北

◆スマートＩＣ周辺や工事関係者撤退後の跡地利用計画は進んでいるのか。
◆道の駅改装の話はあるが、リニューアル程度では意味がない。店舗拡大や移転など根本的な解決を図るべき。
◆清水中学校跡が避難場所になっているが、そこが危険な地域の為、わざわざ避難しない。一時避難場所を充実させるべき。
◆清水の三滝（不老、棚沢、しらゆう）の魅力を発信し、地域のＰＲをして欲しい。
◆秦野峠林道のルート再開をして欲しい。
周遊できるコースが必要。
◆農振農用地の縛りを外す動きなど、もっと町が県に働きかけるべき。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe

今回は清水地区、共和地区で「おしゃべりCafe」を開催しました。
多くの方にご参加いただき、地域愛を感じる熱いお話を伺いました。

6/20 共和地区 共和のもりセンター

◆自治会が無いと地域問題の解決ができない。
自治会加入のメリットを前面に出してはどうか？
◆議会はおしゃべり Cafe を開催して、今後どういった形で町に訴えていくのか。
◆福祉バスの今後が心配。特に運転手不足が懸念される。地域公共交通の今後を考えるべき。
◆環境税の活用を他の自治体に促し、山北町で使ってもらうように促してはどうか。
◆高齢者が多く、地域住民皆でお手伝いをしている。介護が必要な方に町はもっと手を貸して欲しい。
◆お峰入りや世附の百万遍念仏、室生神社の流鏑馬など町の文化財を活用した取組みをして欲しい。

～お詫びと訂正～

５月１日発行の「議会のおと」217 号におきまして、以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

■ P11 附帯決議案賛否結果
誤）反対：８　賛成 ２
正）賛成：８　反対 ２
■ P18 おしゃべり Cafe 開催案内
誤）次回開催場所 4 月 20 日 清水地区
正）次回開催場所 6 月 20 日 共和地区

おしゃべり Cafe は
次回　**山北地区**
で開催します。
日時：８月 20 日（火）13：30 ～ 15：30
場所：山北駅前ふるさと交流センター２F
（山北 1840-15）

当日の詳細は、以下 QR コードからご覧いただけます。

活きいきひろば

家族も牛モォ～感謝でいっぱい

共和地区在住　花坂（はなさか）　薫（かおる）さん

大野山で「薫る野牧場」を経営している花坂薫です。山地（やまち）酪農という手法で、山に生える草を牛が食べ、ノシバ（深さ40ｃｍ程度まで細かく根を張る）の育ちやすい環境を作ることで、崩れにくい山づくりに繋がります。

岩手で山地酪農を学び、８年前に山北に越してきた私と、学生時代に大野山登山者向けのマップ作成等の活動や、卒業後にリヤカーでパン販売をしていた夫、２歳の息子と３人暮らしです。

夫は保育園への送り迎えや家事育児をしながら、谷ヶで田んぼをお借りして稲作をし、田植えや稲刈りの際は町外からも多くの親子連れが集まる体験イベントを企画しています。

周りの方々には、いつも気にかけていただき、助けられながら毎日を過ごし、感謝の気持ちでいっぱいです。牛乳やソフトクリームは町内複数のお店で販売していますので、ぜひお手にとっていただけますと幸いです。

＊観光牧場ではないため、関係者以外は立入禁止となっております。ご了承ください。

政務活動費について

議会では、議員の調査研究及びその他の活動を支援するための必要な経費の一部として、令和５年度から「政務活動費」が導入されました。

各議員の収支報告については、山北町議会 HP にて掲載しています。

議会の傍聴においでください

第３回定例会（予定）

９月３日（火）～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ　議会事務局　**75-3653**

町議会 YouTube チャンネル

一般質問などの動画を配信していますので、チャンネル登録お願いします

編集委員のつぶやき

山北駅前朝市は、幅広い地域住民相互のネットワークづくりと、地域の発展と福祉の増進に寄与することの一環として毎月第１日曜日に開催されており、今年で 18 年目を迎えました。

わたしも出店しておりますが、町内外からお店が集まり、持ち寄った農産物や加工品などが販売されている楽しいイベントです。

「早起きは三文の徳」と言われます。フレイル予防や健康増進のためにも、ぜひお越しください。

朝市実行委員のメンバーと共に、これからも山北町の朝を元気にしていきます。

（記）高橋　純子

編集メンバー

児玉　洋一
池谷　仁宏
和田　成功
高橋　純子
冨田　陽子